

びわ湖マラソンが琵琶湖のためにできること

～ Run for Lake, Run for MLGs ～



BIWAKO
MARATHON 2026



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

日本最大で世界でも有数の古代湖である琵琶湖。そこには、長い時間をかけ独自の進化を遂げた60種を超える琵琶湖の固有種が生息しています。豊かな生態系を育み、近畿1,450万人の暮らしの基盤となる母なる湖を私たちは守り、活かしていかなければなりません。滋賀県では、琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ=MLGs」として13のゴール(目標)を設定し、美しく豊かな琵琶湖と湖に根ざした暮らしを未来に引き継ぐ取組を進めています。～ Run for Lake, Run for MLGs ～ 走ることで、琵琶湖を守る。びわ湖マラソン2026に参加いただくランナーの皆様もぜひMLGsの取組にご賛同ください。



MLGs賛同者募集中！

MLGsにご賛同いただくと、ロゴマークを無料で利用できるほか、MLGs WEB等でご自身の取組のPRも可能です。



SDGsを自分ごと化するヒントを探している方
特色あるSDGsの取組をPRしたい方
「国民的資産」の琵琶湖の保全に貢献したい方

事業者・団体の方も個人の方もお気軽に申請ください！！



食べることで琵琶湖を守る (湖魚の給食提供)

近年、琵琶湖漁業の漁獲量は大きく減少しています。琵琶湖の豊かな魚介類を取り戻すためにも、皆さんに湖魚料理を知ってもらうことが重要だと考え、びわ湖マラソンでは、フィニッシュ会場で湖魚佃煮を提供しています。琵琶湖の貴重な資源である湖魚を守るため、知って、食べて、楽しんでください！



カーボンオフセット

びわ湖マラソンでは、ランナーの皆様からお預かりした「CO₂ネットゼロ協力金」と大会スポンサーの滋賀銀行様のご協力等により、大会運営で排出されるCO₂をオフセットします！



人にも環境にも優しいフィニッシャータオル

今大会のフィニッシャータオルは、「電気の繊維」ピエクレックスを採用しており、人の動きにより繊維が動くとき微弱な電気を発生させ、菌の増殖を抑制します。さらに、使い古した後、「P-FACTS」(ピーファクト)という回収・堆肥化システムによって自然に還り、次の植物の栽培に再利用されます。

